

東北

こおりやま

KŌRIYAMA

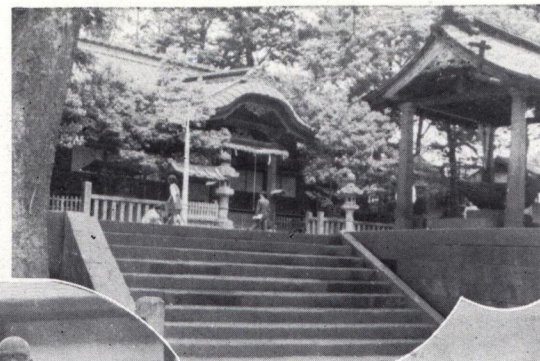
L2913
K
4
福島県立図書館



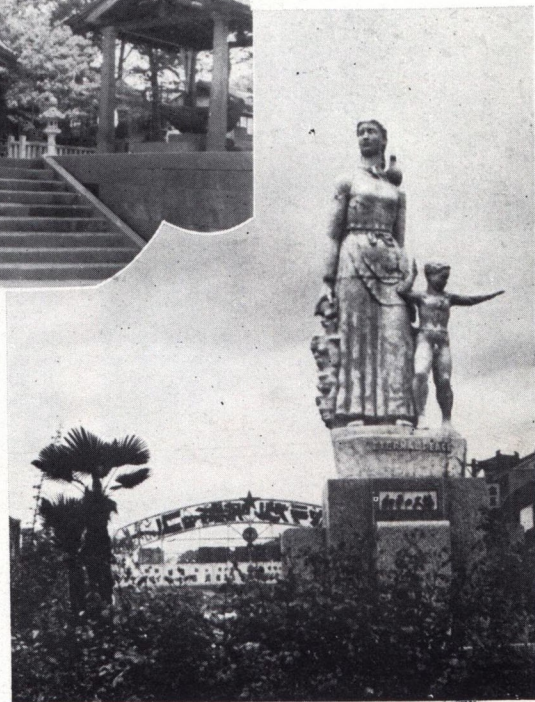
L2913
K
4

福島県立図書館
100695618

郡山市・郡山観光協会



安積良斎先生の像



郡山駅前のも平和の女神

通称祐助、名は重信、良斎はその号である。寛政三年三月二日、郡山村稲荷坊（安積国造神社参道の右側）に生れた。幼時より頭角をあらわし神童といわれていた。十七才で江戸に出て佐藤一斎の僕となつて学び、二十才のとき林述斎の門に入り二十四才で神田駿河台に私塾を開き徒弟に教えた。「文略三卷」をあらわして名声をあげ、文章のことを言うものは必ず良斎の名を挙げ各藩で講義することが多く嘉永三年三月徳川幕府の儒宮となり、萬延元年昌平黉の教授のとき官宅で歿した。先生の銅像は安積国造神社境内に建てられている。

高嶽山 如宝寺

大同二年虎丸長者が平城天皇より馬頭観音の像を賜り帰来後一字を建て開堂供養の導師として笹久根上人を招き群衆に布施して結縁の法悦を頒ち、その後本尊大日如来を奉じて庵室を建て如宝寺と称し観世音を守護するに至つた。

本堂は戊辰の役に焼失したので明治二十五年再建のものであるが山門、仁王門は約三〇〇年前の建立といわれている。

また境内の国宝殿には指定重要文化財たる石造笠塔婆、板石塔婆がありその他、切支丹の古碑、いばなしの鐘、鈴木信敬の墓等々がある。

五百淵

五百淵はもと名倉池といわれ、寛永七年八月起工のもので塵埃をはなれた風光明媚な遊園地であり、野鳥の多いので知られており、禁猟区となつてゐる。



いばなしの鐘



高嶽山 如宝寺



静 堂



五 百 淵

静御前堂

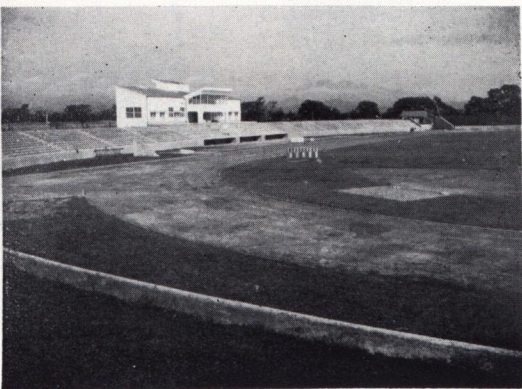
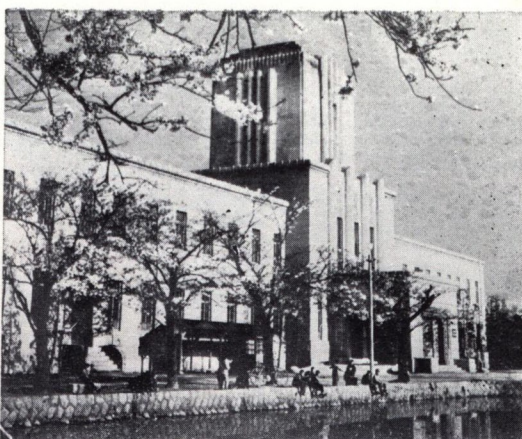
兄源頼朝の勘気を受け、奥州落をした源義経の後を追つて来た静御前がこの地（大槻町針生）によりやくたどりついた処、里人がこれをよく介抱してくれた好意に感謝した静御前が里の娘たちにお針など教えていたが義経をしい世をはかなんで淵に身を投じ果てたのを、里人があわれに思ひお堂を建てこれを祀つたと伝えられ、

古くから女の願ひごとが叶うと遠近の婦女子らの参詣人が多い。

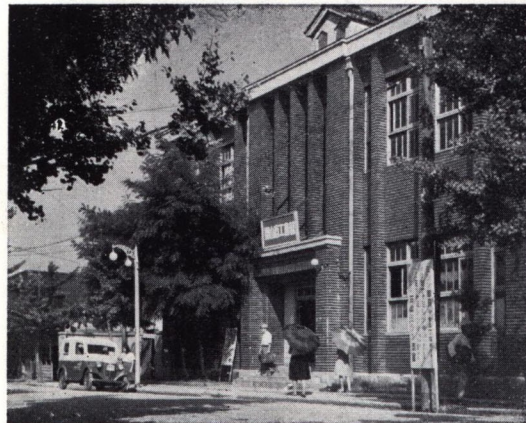
郡山市役所

昭和五年十一月、工費三十二万円を投じ當時は東北一と、いわれた鉄筋コンクリート造りで延坪数一、〇七〇坪であり前庭の池は往時細沼といわれた沼の部分的遺跡である。

市役所庁舎



県営総合グランド



郡山商工会館 (郡山商工会議所 中部経営者協会)

みちのく郡山の ◆著名旅館あんない

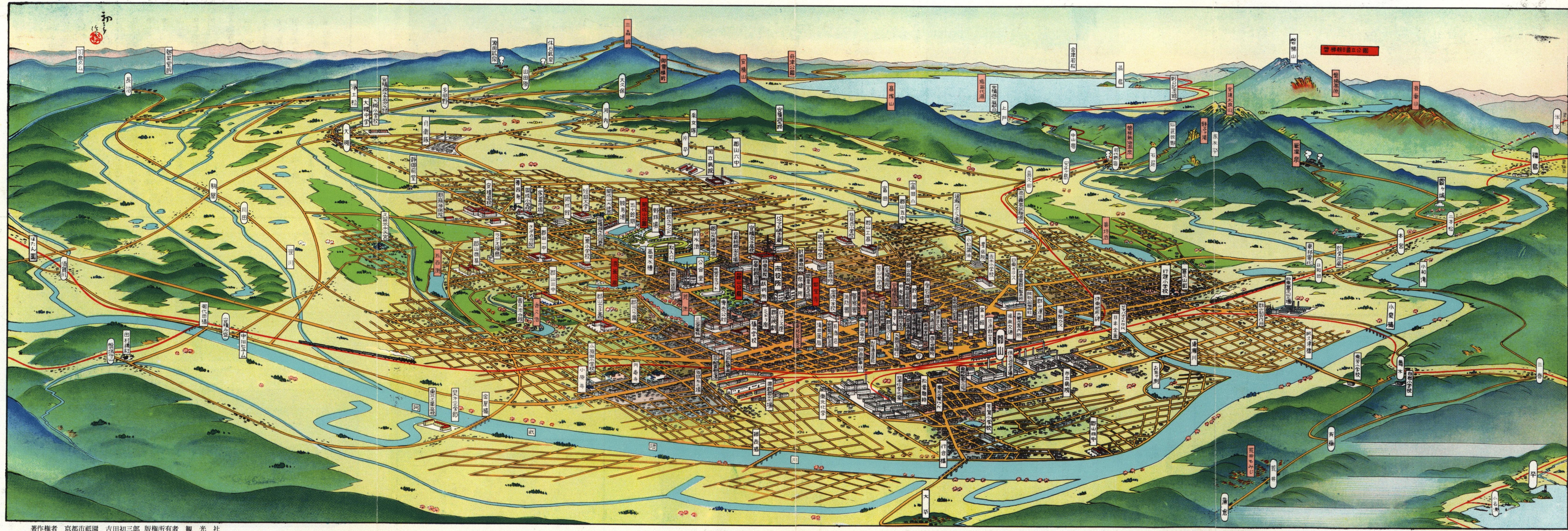
和久屋	電話 一一〇番	郡山市
太田屋	電話 二九六番	大町
旭 館	電話 一九七番	陣屋通
山形屋	電話 一九三八番	陣屋通
鈴 伊	電話 二、二五五番	陣屋通
仲 泉	電話 一、四二四番	北町
早 月	電話 一、二四九番	柳町
大 亀	電話 四七五番	柳町
染 本	電話 二、四〇八番	清水台
みちのく	電話 一九三番	清水台
福 富	電話 五七四番	清水台

柏 屋	電話 四三〇番	郡山市
城後屋	電話 一〇九番	郡山市
第一旅館	電話 二八三番	郡山市
木村屋	電話 一七番	郡山市
田村屋	電話 一〇三番	郡山市
千歳館	電話 一、一四一	郡山市
鈴木屋	電話 一、四二五番	郡山市
花 園	電話 八七一番	郡山市
寿 美	電話 二、〇一四番	郡山市
京 極	電話 一、七三七番	郡山市
辰 柳	電話 一八八番	郡山市
安直館	電話 八二四番	郡山市
西むら	電話 三九二番	郡山市

山本家	電話 一、六五四番	郡山市
鈴 伊	電話 二七四番	郡山市
梅 林	電話 一五九番	郡山市
松 林	電話 三〇九番	郡山市
湖 月	電話 七五〇番	郡山市
味の会	電話 一、四四七番	郡山市
星 輝	電話 一〇六番	郡山市
あかね	電話 六六二番	郡山市
角海老	電話 二二〇番	郡山市
湖畔亭	電話 三五五番	郡山市

◆著名料理店案内

郡山市鳥瞰圖



工場と商店街

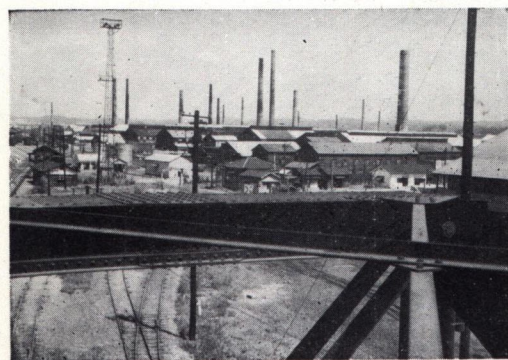
本市は東北有数の工業都市で市内には約六〇〇の大、中工場が群立し二十三日商店街があつて約三、〇〇〇の商店が軒を並べている県南最大の物資集散都市でもある。

主な工場

国鉄郡山工場、専売公社郡山地方局、日東紡績K、K、日本化学郡山工場、保土ヶ谷化学郡山工場、三菱電機郡山工場、バラマウント硝子工業K、K、日東硝子工業K、K、ジャパナイトK、K、東北工業K、K、山桜酒造会社、旭自動車K、K、日本全業K、K、日本酸素郡山工場、サンライズ、原燃糸工場、小松醤油店、片倉工業、東邦製麦、東部ガス

主な商店街名

中央商店街連合会、麓山商店振興会、さくら通り商店連合会、大重町振興会、すくらん通り商店街、大町商店街、駅前大通り親和会、本町商店街、南部商店連合会、小原田商店街、旭町通り商店街、方八丁商店街



工場群



中央商店街



さくら通り商店街

銘菓三万石



安積豆



銘酒山桜



薄皮餃子



宮田の乾めん

郡山みやげ案内

薄皮餃子、三萬石、くろみ、安積餅、花積、安積、白積、柏積、あけだ、磐梯、桃山、良山、黒山、清酒、深山、桜家、豆、か、しら、驚、か、豆、だ、景、子、宮田の乾めん、春高、文知、安積、荒城、味噌、銘酒、銘酒、チエリ、ウイスキー、うねめ、静けし、なめこ、茶筒



うねめ人形 静けし

荒池、酒蓋公園

「渡島安積風にしは／＼す」と、かつて河東羽根桐が詠じた頃と、今の荒池の景観は大きく変つてゐるが、春夏秋冬市民の憩いの場所であり殊に松風にさらされて花吹雪する池面にボートを漕ぐ風景は、ここならではの味わい。

麓山公園

この公園は一名共楽園ともいわれ、文政九年二本松藩主が築造したものといえられる。心字形の池の中の島には弁財天が祀られ一名弁天池ともよばれ、周囲の数十株の松は樹齢百五十余年を経て池の傍りに、丘の上に思ひ／＼に姿態を整え四季それぞれの風趣を添え、なかでも冬の雪、松吹く風の夏の涼味はまた格別なものがある。

郡山のバラ園

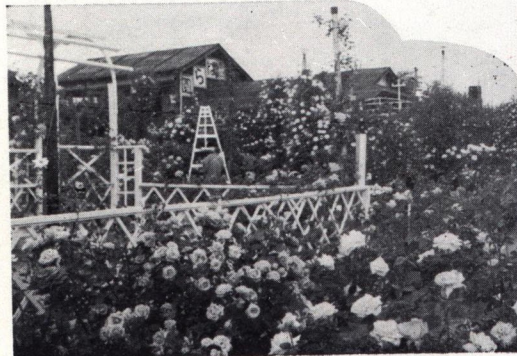
市内深沢地内にあり三百余种と二、八〇〇余本のバラの花が六月と十月に満開となり、その美麗さは東北地方に珍らしく遠近の人で賑う。

麓山公園



冬の酒蓋公園

郡山のバラ園



七夕まつり



七日堂祭



桜まつり
(全市仮装行列)



郡山のまつりと行事

七日堂祭 昔から毎年正月七日に行われる七日堂のお祭りは虎丸長者が朝廷から頂いた馬頭観音像を祀つたものであり早朝からその年の幸いを祈願する遠近の人口で賑い、マサルやダルマ等が縁起ものとして売られる。

桜まつり 四月中、下旬、開成山、荒池の桜の咲く頃、全市の業者、工場の仮装行列や夜桜電飾をなし盛況を呈す。

七夕まつり 八月七日を中心に商店街は豪華多彩な七夕の飾りで賑う。

郡山花火大会 八月九日阿武隈川畔で盛大に行われる。

花市 八月十二日の晩、市内繁華街を中心にお盆用の花類を売る市で賑う。

秋まつり 安積国造神社の祭礼で九月二十八日を中心に行い昔ながらのジンタや山車に街がわきかえる。

うねめ祭り 悲恋うねめ物語りにちなんだ祭りである。お伊勢まつり 東北唯一の伊勢皇太神宮のお分霊を祀る開成山大神宮の祭りである。

その他 郡山菊花大会、郡山バラ展、郡山文化祭、郡山巾着競馬等々が時季々々に催される。

復製 発行所 郡山市・郡山観光協会
著作権者 京都祇園南島居前 吉田初三郎
版權所有者 同所 阿瀬庄太郎
印刷所 同所 観光社



開成山の桜



秀峰安達太良山と名勝天然記念物



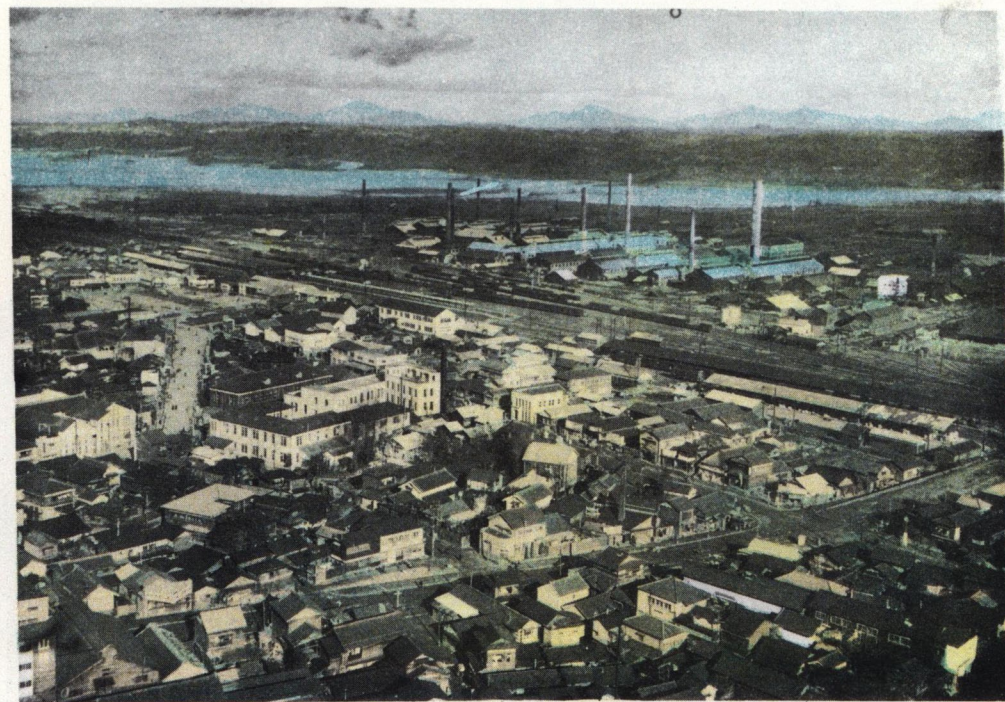
開成山大神宮



寄贈

秀峰安達太良と開成山

明治六年開成社（開成山一帯を開拓するために郷土の先覚者阿部茂兵衛等二十五名の結社）がこの地一帯を開拓するにあたり同社々則に基き各自実播きして苗木を仕立、又苗木を東京から取寄せるなどして、明治十一年三月二十七日から大神宮、五十鈴湖を中心にして植えたもので、当時からもの三百余本を主軸にして現在五百数十本が、秀峰安達太良の残雪に呼応して、長堤に、水の傍へに咲き競うさまは桜の花の持つ良さが、ここにもみ集約されているかの感が一しお深く、かつて全国桜番付に「開成山の桜」として三役の貫禄をもっており遠近の観客に親しまれよるこばれている。



郡山市街

（朝日新聞社提供）

こおりやまの表情

磐梯・朝日国立公園南口を形成している郡山市は、上野駅から急行で四時間、仙台駅から二時間余りの近距離で、福島県の中央にあつて商工業の中心地として躍進の途を力強く歩いている新興都市である。明治初年までは奥州街道の一寒村にすぎなかったが、明治新政府の殖産興業、士族援産の国策に基き、猪苗代湖より我が国二大双壁の一つと云われる劃期的な安積疏水事業の完成によつて、安積二十万石の美田が開墾され、これに伴う豊富なる電力の利用と、東北本線、磐越東西線、水郡線及び本市を基点とする放射網のバス路線の発達と相俟つて東北有数の工業都市になつた。

また本市内と近郊には古来より、ゆかしい伝説と由緒ある名所、旧蹟も多く、更に周辺には秀峰安達太良山、民謡で親しまれている磐梯山と猪苗代湖……そして情緒豊かな磐梯熱海温泉を始め、岳、中の沢、横向、沼尻温泉等は訪れる方々を心からお迎えする観光パラダイスでもある。